

塗り絵リハビリ「効果」

製鉄記念室蘭病院で初講座

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)で19日、「大人のぬりえ講座〜ぬりえで楽しくリハビリテーション〜」が開かれ、参加者16人が塗り絵に



塗り絵がもたらす効果を学んだ講座

よる健康効果を学んだ。

同院では初めての企画。

2部構成で同院理学療法士

の工藤友美さん、伊達など

で絵画教室「いろえんぴつ

art hotaru」を

主宰する塩谷恭子さんを講師に迎えた。

このうち工藤さんは「ぬりえの可能性」訪問リハビリの立場から」と題して講話。「塗り絵をした後は脳全体が活性化している」と科学的に証明されている」と解説し「塗り絵を始めたら記憶力が高まり表情も明るくなった」とリハビリで活用した事例を紹介。参加者が興味深く聞き入っていた。

講話の後は塩谷さんの指導で塗り絵に挑戦。花や鳥など選んだ下絵に色鉛筆やパステルなどで丁寧に色を付け、作品を完成させていった。(有田太郎)